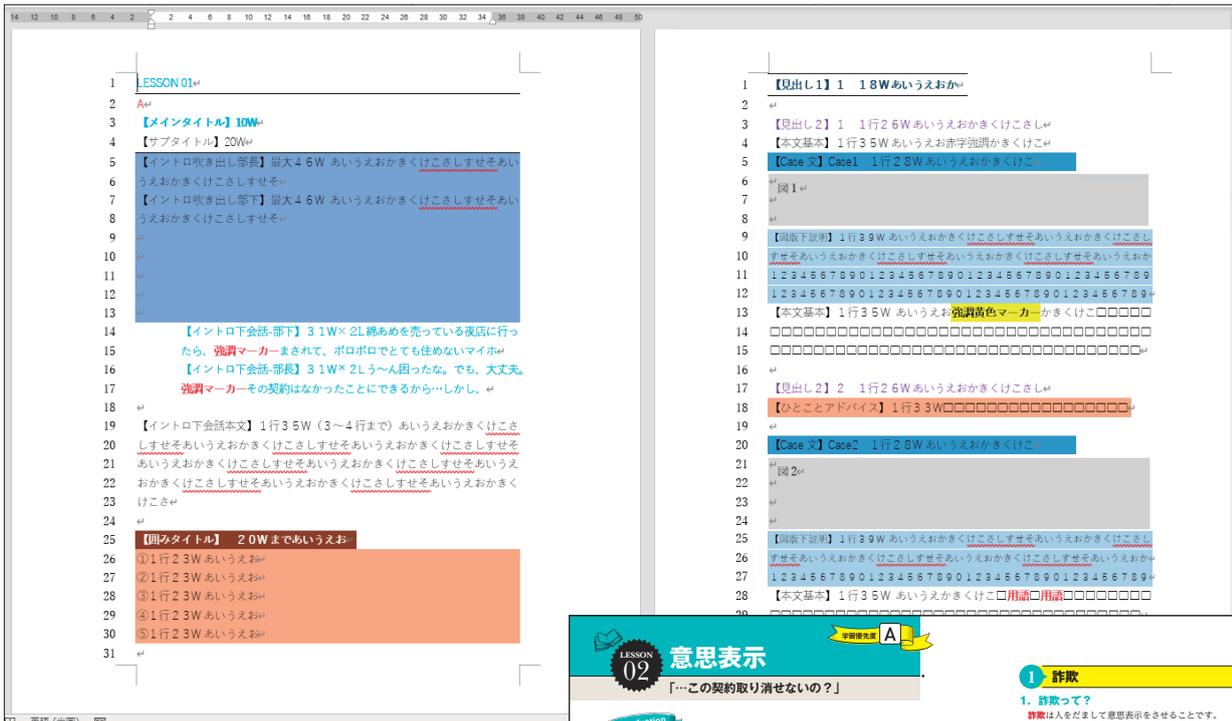


Wordテンプレートで図る業務効率化

Wordのスタイル設定は書籍原稿の作成にとっても役立つ機能です。また、DTP作業の効率化や品質向上といったメリットも期待できます。編集業務軽減のためにも当社のWordテンプレートをご活用ください。



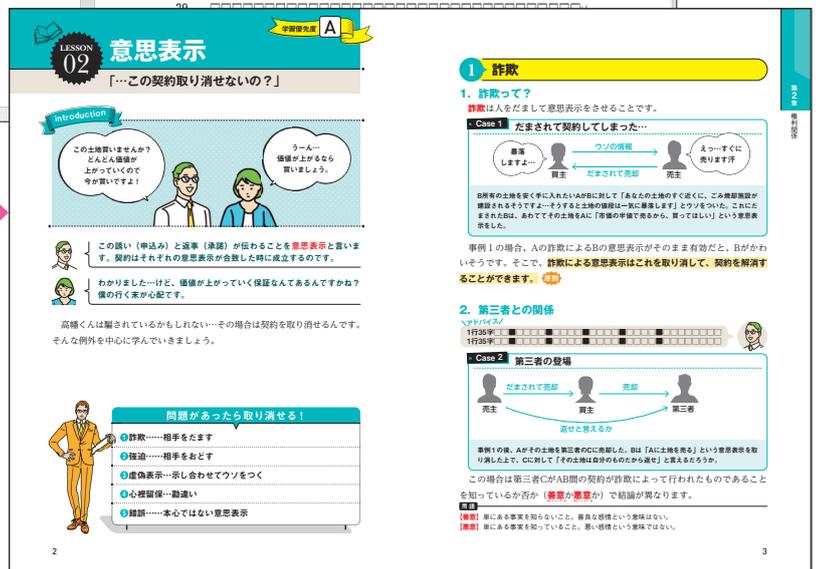
Word画面

Wordテンプレート作成サービス

WordやInDesignには、テキストの書体、級数、色、行間等といった文書への配置方法をあらかじめ設定しておく「スタイル」という機能があります。

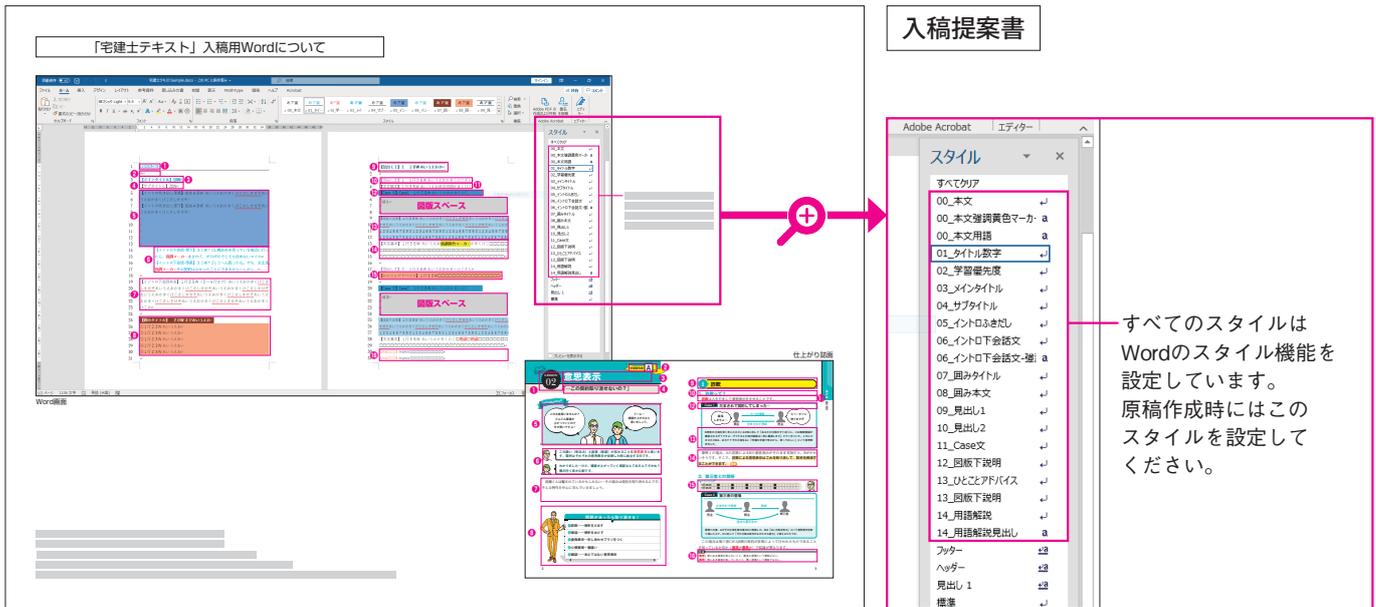
WordとInDesign双方に何通りかのスタイルを設定し、それらを紐付けておきます。すると、WordテキストをInDesignに流し込んだ際、Wordにあてたスタイルが、それと紐付けられたInDesignのスタイルで再現されます。

これによって、今まで原稿作成の際にテキストデータとともに作成していた手書きの指定紙、またはWord文書上に入れていた見出しレベルやルビ、その他注釈等の指定が、不要になります。



仕上り誌面

当社では効率的な組版作業、および原稿作成の支援として、あらかじめスタイルの設定されたWordテンプレートの作成サービスを行っています。そのメリットやサービス内容については以前のご案内（MCR Vol.44）でも詳しく説明していますが、今回はWordテンプレートのより実践的な導入方法等を紹介します。



入稿提案書

すべてのスタイルはWordのスタイル機能を設定しています。原稿作成時にはこのスタイルを設定してください。

■入稿提案書とサンプルデータ

当社のWordテンプレートはなるべく実際の誌面イメージに近づけて作成します。また、実際の誌面とどのように対応しているかが分かる上図のような入稿提案書を提供します。これを参照しながら、テキストにスタイルをあてたWordデータを当社へ入稿してください。スタイル機能を習得する必要はありません。

お渡しできるサンプルデータも用意しています。文章が中心で見出しが3種類までの書籍を想定して作成されています。文字数や行数を変更するなど、このデータを改変して使用いただくことも可能です。ご希望でしたら担当営業へお申し付けください。

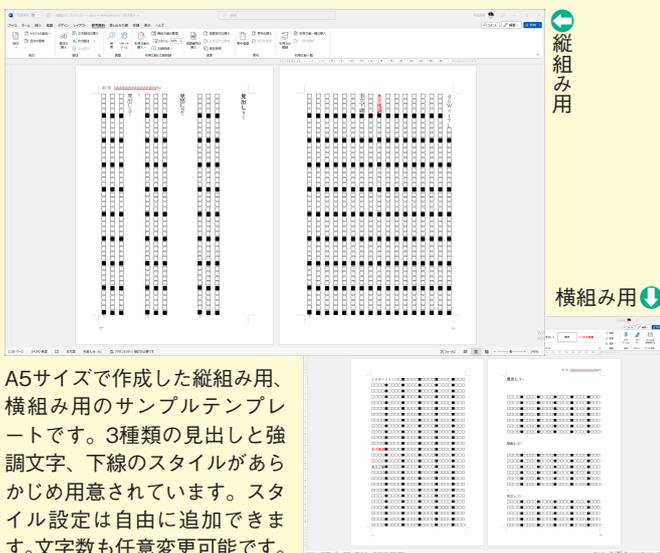
■Wordテンプレートに向けた商品

Wordテンプレートが一番効果を発揮するのは文庫本などの文字物です。また、実用書や教材、参考書など、定形フォーマットが続く商品にも有効です。

逆に、レイアウトが複雑な雑誌などには向いていません。テンプレート自体の作成は可能なのですが、Wordのデータ構造が複雑になり原稿作成がかえって煩雑になってしまいます。

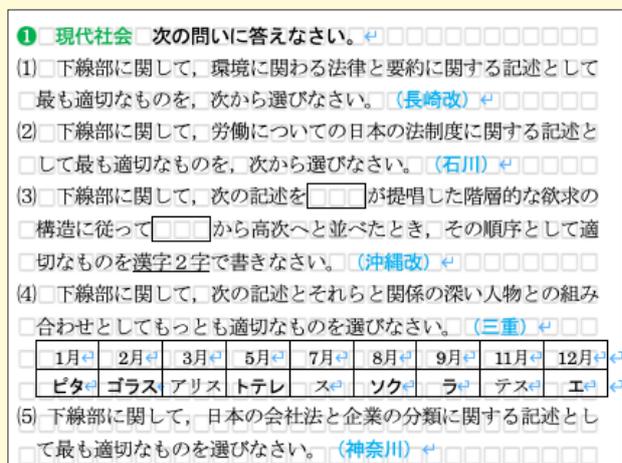
まずは、作成される書籍のレイアウトがどのようなものか担当営業へお見せください。その上で、Wordテンプレートを含めた編集業務の効率化についてアドバイスさせていただきます。

サンプルテンプレート



A5サイズで作成した縦組み用、横組み用のサンプルテンプレートです。3種類の見出しと強調文字、下線のスタイルがあらかじめ用意されています。スタイル設定は自由に追加できます。文字数も任意変更可能です。

背面マス目入れ



原稿用紙のようにWord画面の背面にマス目を配置することも可能です。これはWordの原稿用紙機能ではありません。制作する文書に合わせて任意の字詰め、行数を設定できます。